



棚卸・在庫精度向上と在庫圧縮の事例から学ぶ！

『実地棚卸と在庫削減の基礎実務』

日時／2015年4月15日(水) 10:00~17:00

会場／ 東京・渋谷近辺の会議室

受講料／ 日本IE協会会員 35,640円
一般 47,520円

日本生産性本部 賛助会員 41,580円
(消費税・テキスト代を含みます)

講師

(株)流通エンジニアリング

代表取締役 横山 英機 氏

厳しい生産合理化要求に振り回されない「在庫」のコントロール

市場変化に合わせた在庫状況の分析をした上で、役割分担を最適化し、在庫適正化を実現する必要があります。製造業における在庫管理は、次の2つの問題に臨機応変に対応できるかがポイントとなります。

- ①納入先の需要と供給側の調達の間差調整
- ②厳しい生産合理化要求

当セミナーでは、講師が現場改革で積み上げてきた事例をもとに、次のことを中心に解説します。

- ①在庫管理現場の実態を総点検
- ②在庫精度向上のための棚卸手法
- ③在庫拠点統合による在庫圧縮のポイント
- ④多品種少量化時代に適合する発注システムの手法

大変ご好評をいただいているセミナーです。この機会に多くのお参加をお待ちしております。

【 プログラム : 4月15日(水) 10:00~17:00 】

1. 『在庫管理の現場は問題が多い』

- 1. 現金である在庫が軽視されている(経営風土問題)
- 2. 有効な在庫は意外と少ない(データ分析不足)
- 3. 在庫回転率の実態把握不足(要因分析不足)
- 4. 在庫問題の真因追求不足(要素分析としくみ不足)
- 5. 発注ミスの真因追究不足
- 6. 実地棚卸方法(方法論未確立)

2. 『在庫管理の重要ポイント』

- 1. ロジスティクスにおける顧客満足度と在庫の関係
- 2. 現品管理と在庫マネジメント
- 3. 在庫は需要と供給のアンマッチ解消策
- 4. 高回転する在庫のみが経営に貢献する

3. 『棚卸はなぜ重要か』

- 1. 決算には正確な棚卸が不可欠(会計上)
- 2. 帳簿在庫の不信を取り除く(日常運用上)
- 3. 在庫適正化には実棚精度向上が不可欠(在庫管理上)

4. 『棚卸を正確・迅速に行うには』【事例紹介】

- 1. 事例企業の概要
- 2. 拠点統合化の狙い(配送費・人件費・保管費の削減)
- 3. 棚卸の定義と特徴(会計上と業務改革上から)
- 4. 棚卸の基本手順
- 5. 棚卸の事前準備のポイント
- 6. 立会計画と立会い
- 7. 不突合調査と増減処理
- 8. 棚卸資産の評価方法
- 9. 棚卸報告書の作り方 向上が必須となった事例

5. 『生産ラインの棚卸業務改善ポイント』【事例紹介】

- 1. 棚卸環境の見える化
- 2. 棚卸項目の見える化(棚卸勘定科目整理)
- 3. 棚卸業務改善の見える化
- 4. 棚卸実施日までの推進計画表の見える化
- 5. 棚卸合理化促進テーマの見える化

6. 『在庫適正化のための発注システム改革』

- 1. 製造業に於ける在庫コントロール方式の見直しと「部門最適化」
- 2. 発注に必要なエレメントと補充発注計算のポイント
- 3. 「在庫リスク負担型」の業務工程の見直しとサプライチェーンへの改善の働きかけ
- 4. リードタイム短縮のための全体工程の見直しポイント

7. 『企業経営に於ける在庫高回転向上の意義』

- 1. 貸借対照表と損益計算書の両面から在庫の意義を見直そう(総資本利益率の本質)

講師紹介



物流通エンジニアリング 代表取締役 横山 英機 氏

1967年中央大学法学部卒業。石油プラント会社(物流設備製造販売)にてシステム合理化プロジェクトを担当。システムコンサルティング会社に移籍し、物流コンサルティング部門GRP部長就任。1989年に株式会社流通エンジニアリングを設立し、現在に至る。物流戦略立案、物流センター開設、在庫削減、情報システム開発などで、メーカーから卸・小売業まで幅広い企業の指導に活躍中。実際の改善成果をふまえた実戦的な指導には定評がある。独立行政法人中小企業基盤整備機構の経営支援アドバイザーを経験し、情報システムと在庫削減実績を持つコンサルタントとして評判が高い。

参加申込は

FAX (03)-3400-8694
ホームページ <http://www.j-ie.com/>

下記ご記入のうえ
このまま FAX にて
お申込みください。

『実地棚卸と在庫削減の基礎実務』

CQ06 2015年4月15日 添田

■ 貴社名		■ 所在地(〒 -)	
氏名		所属/役職	
派遣責任者	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
参加者(1)	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
参加者(2)	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
合計【 】名		参加費【 円】	

■ キャンセル規定に関して ■

申込受け後、おそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【注】※キャンセルは、必ず E-mail、または、FAX にて、日本 IE 協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)：参加費の50%
- ・開催日の前日および当日：参加費の全額(料金のご返金はできません)

お申込・お問合せ

日本インダストリアル・エンジニアリング協会
THE JAPAN INSTITUTE OF INDUSTRIAL ENGINEERING
〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1
TEL.03-3400-8715 FAX.03-3400-8694
E-mail: jiie@j-ie.com Website: <http://www.j-ie.com/>

担当：第一企画部
添田

■ 個人情報の取扱いについて ■

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、(公財)日本生産性本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、(公財)日本生産性本部個人情報保護方針の内容については、(公財)日本生産性本部ホームページ (<http://www.jpc-net.jp/others/kojin.joho.html>) をご参照願います。

参加されるご本人、ご連絡担当の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。

2. 個人情報は、『日本 IE 協会』の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに日本 IE 協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
4. 各種ご案内の送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、日本 IE 協会(会員担当：連絡先 TEL03-3400-8715)または(公財)日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口(TEL03-3409-1112) までお問合せください。【責任者：個人情報保護管理者(総務部長)】
6. お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人次第ですが、必要な個人情報が不足していた場合は日本 IE 協会からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご承知願います。
7. 日本 IE 協会は、クッキー等のご本人が容易に認識できない方法によって個人情報を取得することは行っておりません。
8. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。